

第102号議案 平成30年度長崎市一般会計補正予算（第3号）

目次	ページ
1 10款2項4目 【補助】小学校整備事業費 仁田佐古小校舎等建設	1 ~ 7
(継続費) 2 小学校整備事業 仁田佐古小校舎等建設	8 ~ 9
3 10款2項4目 【補助】小学校整備事業費 伊良林小校舎等改築	10 ~ 16
(継続費) 4 小学校整備事業 伊良林小校舎等改築	17 ~ 18
5 10款3項4目 【補助】中学校整備事業費 外海中学校校舎等建設	19 ~ 23
(継続費) 6 中学校整備事業 外海地区中学校校舎等建設	24 ~ 25
7 10款2項4目 【単独】小学校整備事業費 空調設備整備 10款3項4目 【単独】中学校整備事業費 空調設備整備	26 ~ 28



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】小学校整備事業費 仁田佐古小校舎等建設	千円 12,900

1 概 要

現在、仁田佐古小学校の新校舎等の建設を行っているが、文部科学省の定める学校環境衛生基準において、望ましい温度の基準が「17℃以上、28℃以下」と見直されたことを受け、各学校に熱中症計を設置し調査を行ったところ、ほとんどの学校でこの基準を上回る結果となった。

このことから、空調設備を普通教室及び理科室に設置することにより、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

これまで職員室等の管理諸室や図書室等の一部の特別教室にのみ空調設備を設置していたが、これらの他、普通教室及び理科室にも空調設備の設置を行うもの。

事業費内訳

業 務 名	補正予算額 (千円)	
空調設備設置 (前金)	12,900	普通教室 12 室、理科室
計	12,900	

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他 ※3	一般財源 ※4
補正前の額	千円 759,000	千円 172,208	千円 —	千円 457,700	千円 5	千円 129,087
補 正 額	千円 12,900	千円 —	千円 —	千円 9,600	千円 —	千円 3,300
補正後の額	千円 771,900	千円 172,208	千円 —	千円 467,300	千円 5	千円 132,387

※1 公立学校施設整備費国庫負担金 (負担率: 1/2)、学校施設環境改善交付金 (補助率: 1/3)

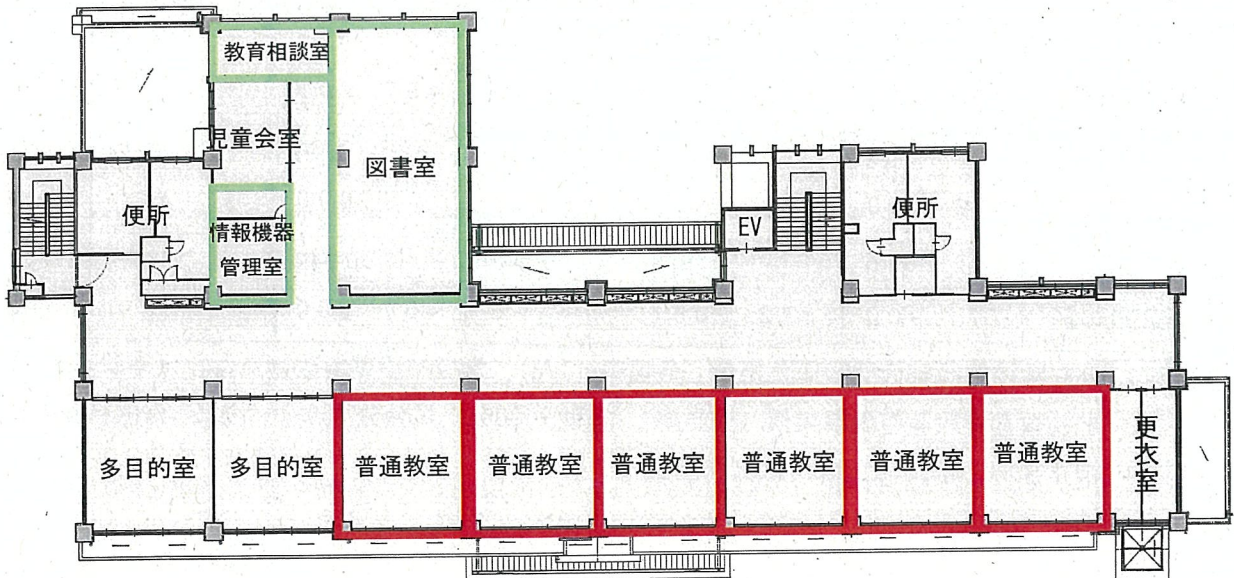
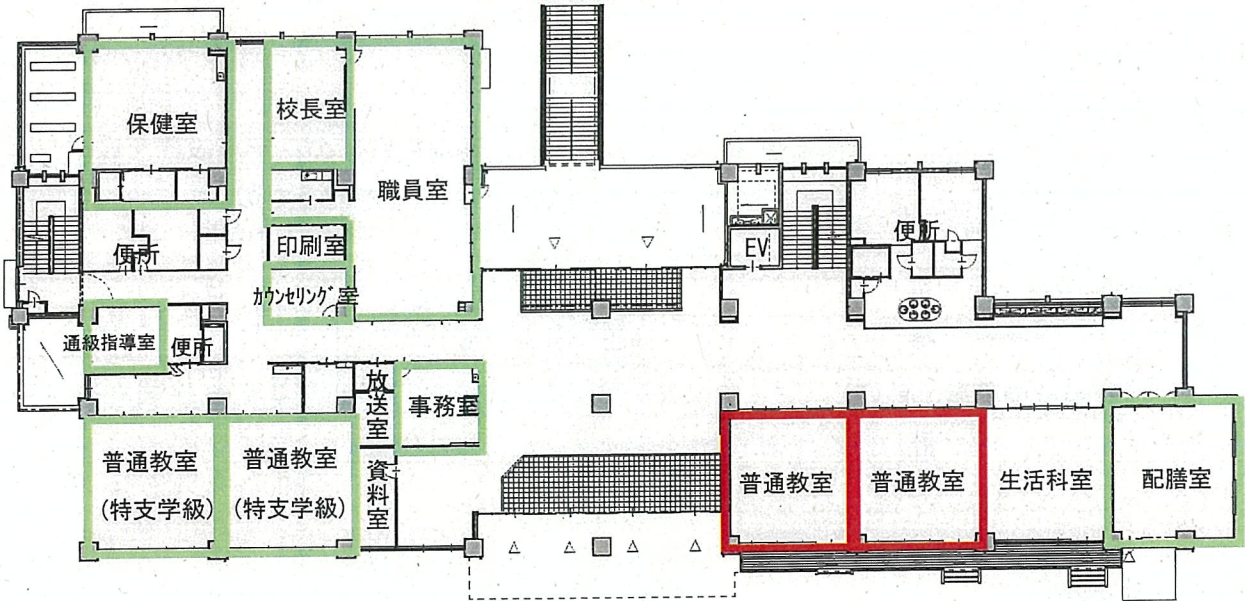
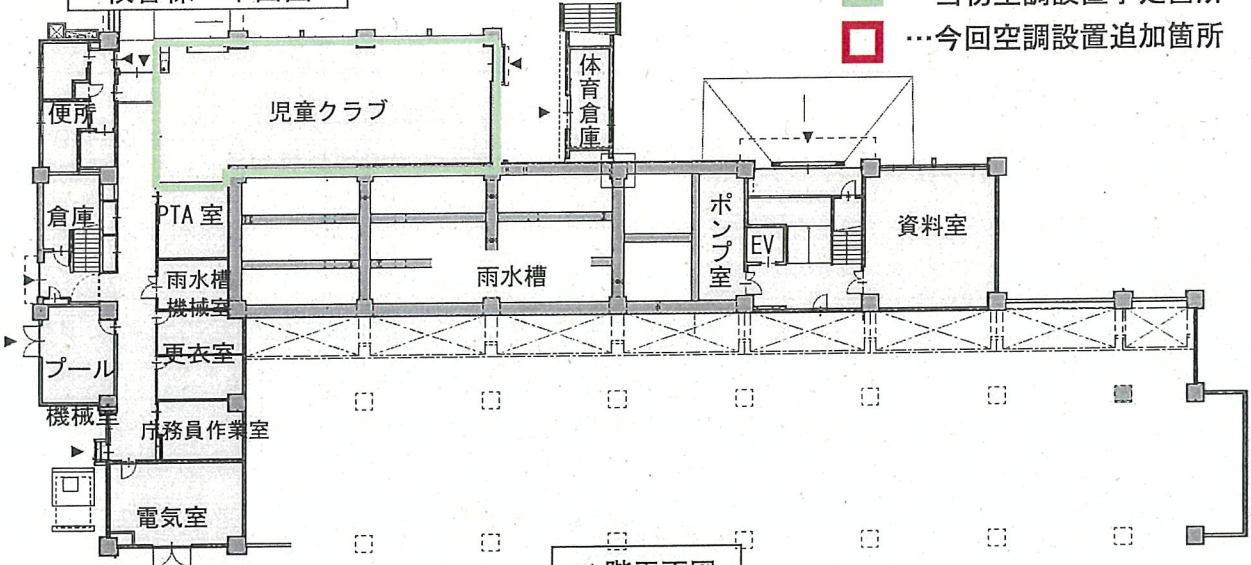
※2 学校教育施設等整備事業債 (充当率: 補助分 90%、単独分 75%) ※3 保険料個人負担金

※4 補正額の一般財源分は財政調整基金

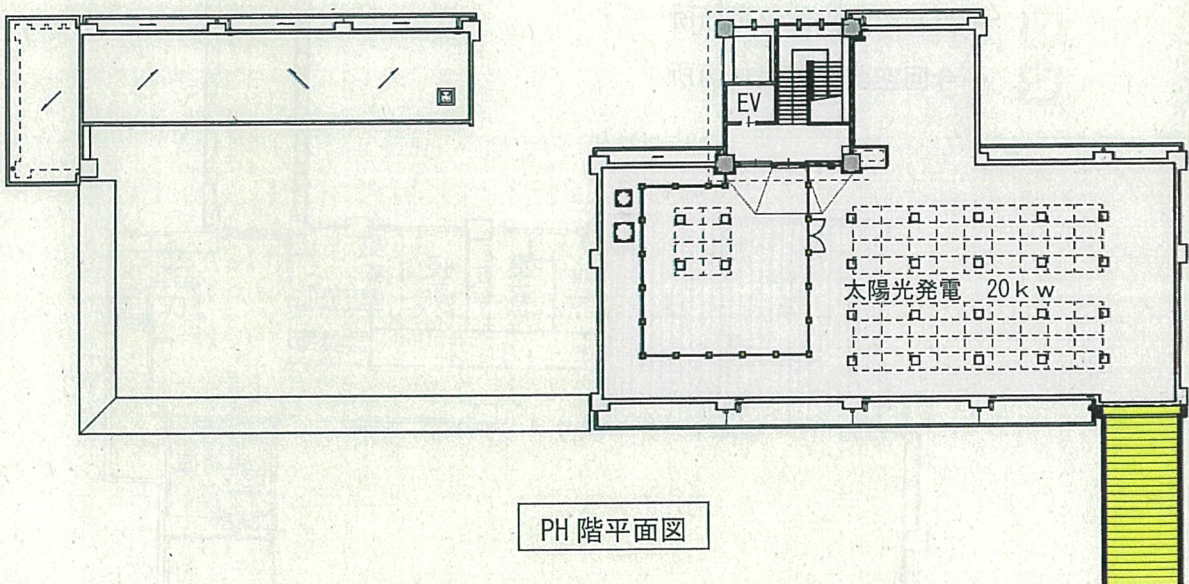
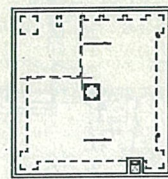
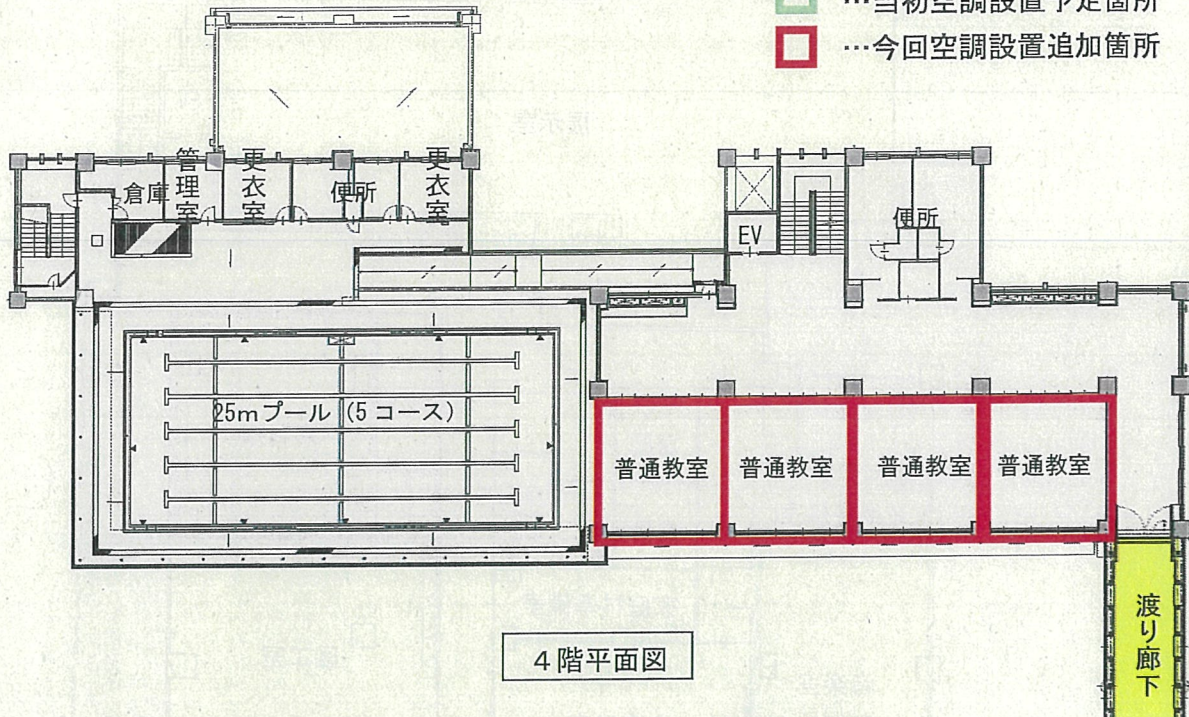
4 仁田佐古小学校 平面図

校舎棟 平面図

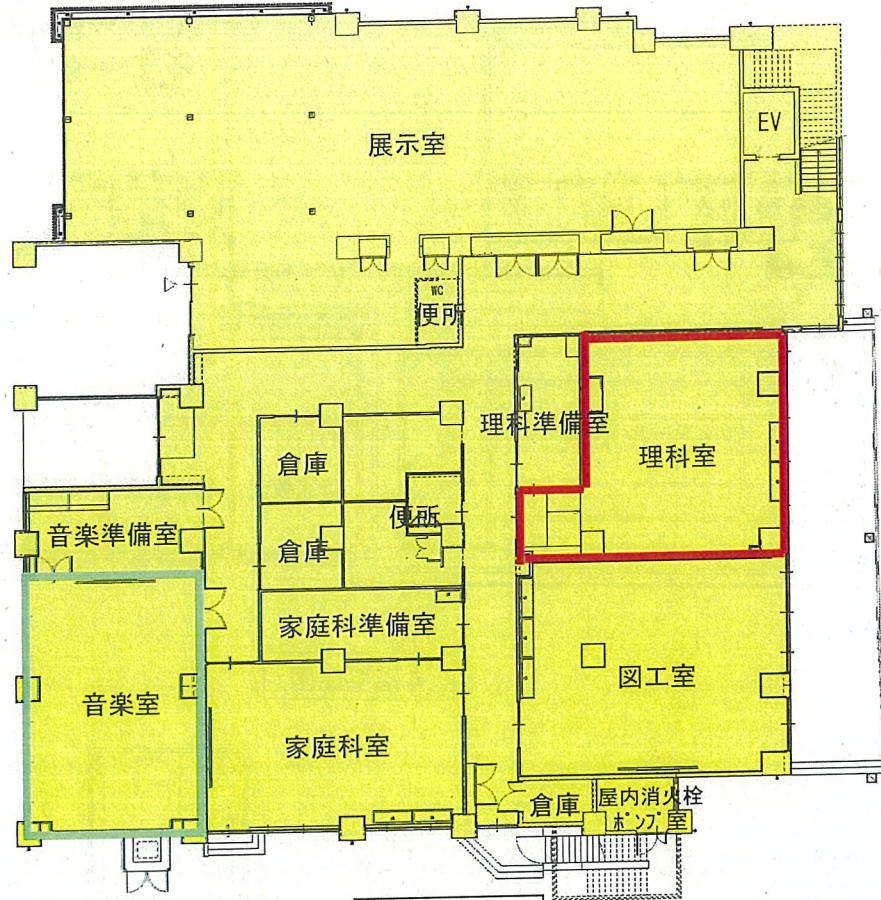
- ...当初空調設置予定箇所
- ...今回空調設置追加箇所



- ...当初空調設置予定箇所
- ...今回空調設置追加箇所

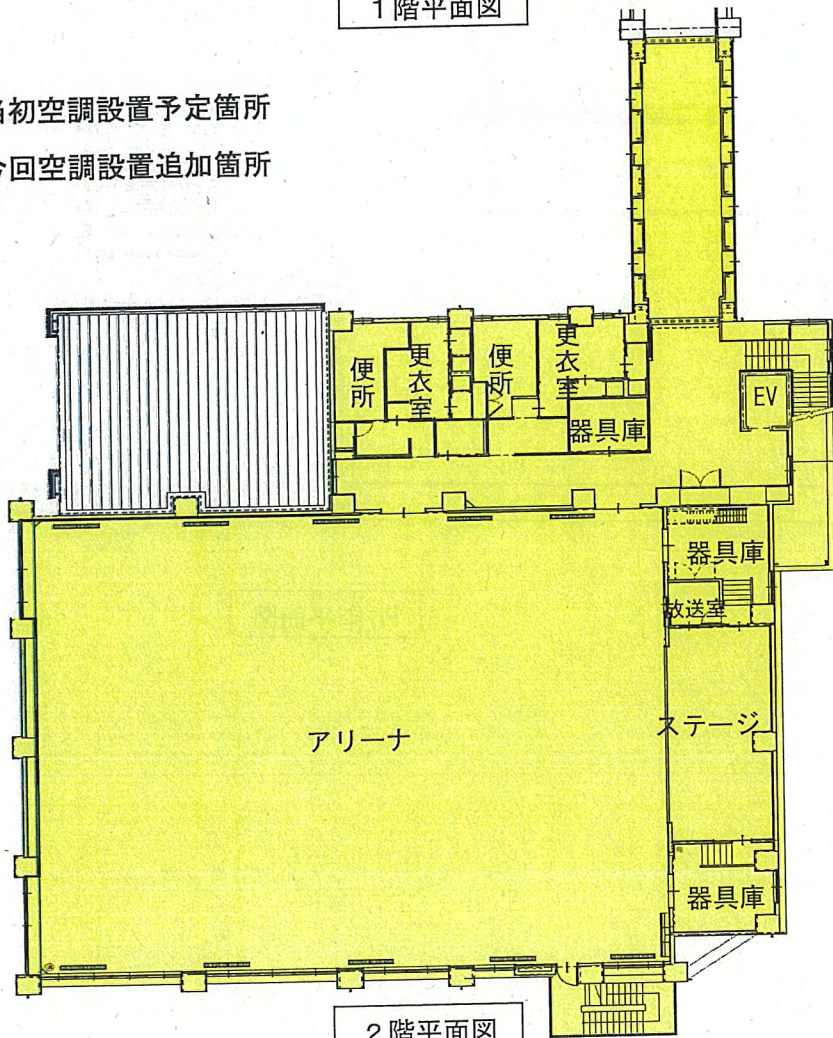


体育館棟 平面図



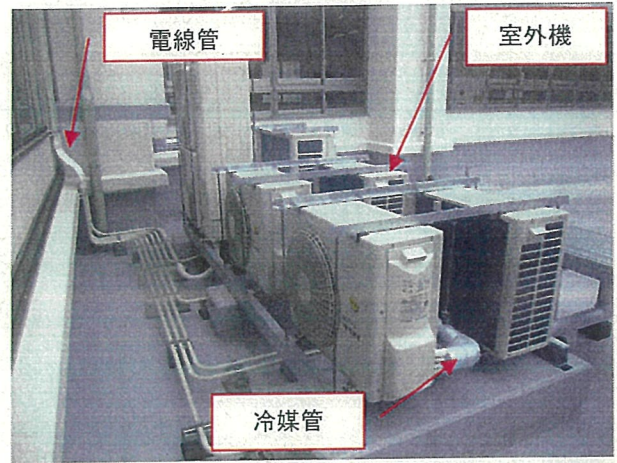
1階平面図

- …当初空調設置予定箇所
- …今回空調設置追加箇所



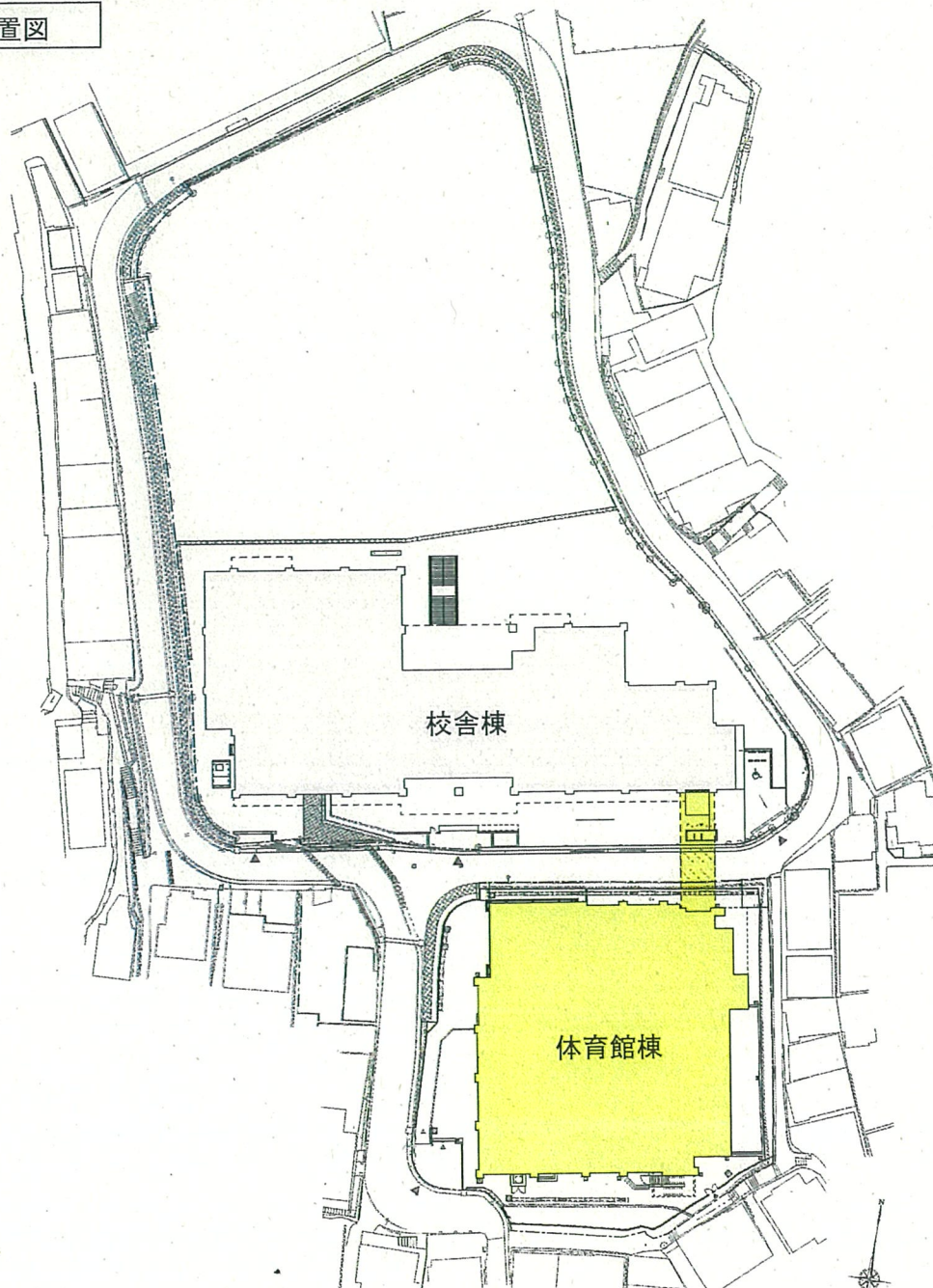
2階平面図

5 空調設備設置イメージ



参考 仁田佐古小学校 配置図及びスケジュール（予定を含む）

配置図



スケジュール（予定を含む）

平成 27～29 年度

平成 28 年度

平成 28～29 年度

平成 29～30 年度

平成 30～31 年度

平成 31 年度～

平成 31～32 年度

基本・実施設計

土質調査、耐力度調査、建物事前調査、用地登記測量

旧佐古小学校校舎等解体工事

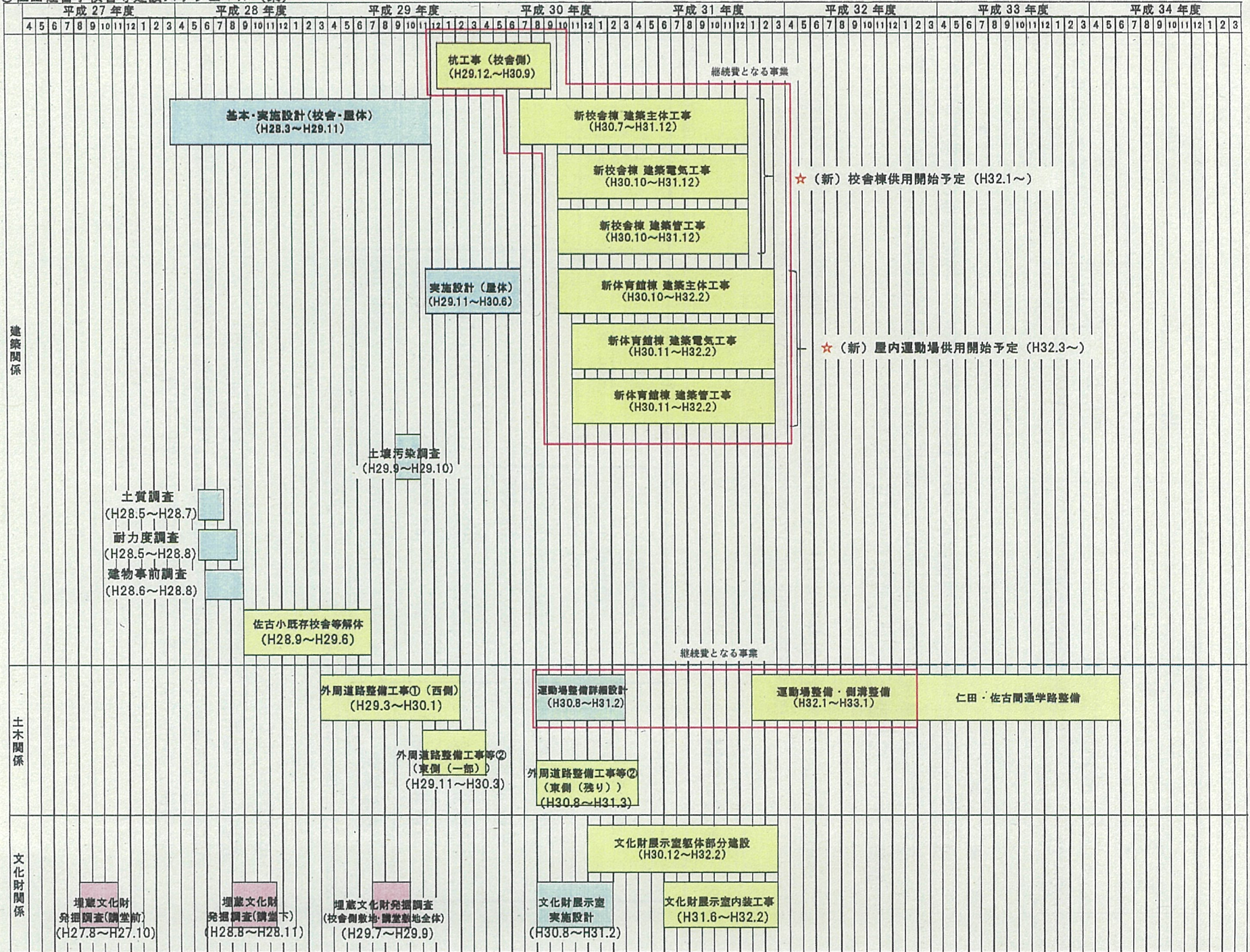
新校舎棟杭工事

新校舎・体育館建設、空調設備設置

新校舎棟供用開始（予定）

グラウンド整備等

○仁田佐古小校舎等建設スケジュール(案)



※凡例 □:業務委託 □:工事 □:文化財調査

継 続 費		期 間	補正額
第 2 表 ページ	事 項		
5 20~21	小学校整備事業 仁田佐古小校舎等建設	平成29年度 ～平成32年度	千円 43,000

1 概 要

現在の旧佐古小学校敷地に仁田佐古小学校の新校舎等を建設し、教育環境の改善を図る。

なお、同建設事業は、平成29年度から平成32年度で、継続費を設定しているが、空調設備設置に伴い、現在設定している継続費を補正するもの。

※継続費とは・・・2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費① (補正前)	事業費② (補正後)	増減 (②-①)
平成29年度	90,800	90,800	0
平成30年度	759,000	771,900	12,900
平成31年度	1,490,900	1,521,000	30,100
平成32年度	48,000	48,000	0
総事業費	2,388,700	2,431,700	43,000

※平成31年度～平成32年度については予定金額である。

3 事業費増の主な内容

・空調設備（電気式）設置のための工事費の増（43,000千円）

（当初設計で設置予定の管理諸室等のほか、新たに普通教室12室、理科室1室に設置するもの。

機械設備工事30,000千円、電気設備工事13,000千円）

4 財源内訳

単位：千円

区分	事業年度	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源※4
補正前の額	平成29年度	90,800	—	—	58,500	5	32,295
	平成30年度	759,000	172,208	—	457,700	5	129,087
	平成31年度	1,490,900	376,151	—	889,900	5	224,844
	平成32年度	48,000	3,888	—	33,000	—	11,112
合 計		2,388,700	552,247	—	1,439,100	15	397,338
補正額	平成29年度	0	—	—	—	—	—
	平成30年度	12,900	—	—	9,600	—	3,300
	平成31年度	30,100	—	—	22,500	—	7,600
	平成32年度	0	—	—	—	—	—
合 計		43,000	—	—	32,100	0	10,900
補正後の額	平成29年度	90,800	—	—	58,500	5	32,295
	平成30年度	771,900	172,208	—	467,300	5	132,387
	平成31年度	1,521,000	376,151	—	912,400	5	232,444
	平成32年度	48,000	3,888	—	33,000	—	11,112
合 計		2,431,700	552,247	—	1,471,200	15	408,238

※1 公立学校施設整備費国庫負担金（負担率：1/2）、学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：補助分90%、単独分75%） ※3 保険料個人負担金

※4 補正額の一般財源分は財政調整基金

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-2	【補助】小学校整備事業費 伊良林小校舎等改築	千円 28,000

1 概 要

現在、伊良林小学校の新校舎等の建設を行っているが、文部科学省の定める学校環境衛生基準において、望ましい温度の基準が「17℃以上、28℃以下」と見直されたことを受け、各学校に熱中症計を設置し調査を行ったところ、ほとんどの学校でこの基準を上回る結果となった。このことから、空調設備を普通教室及び理科室・音楽室に設置することにより、教育環境の改善を図る。

また、環境省からの通知「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」に基づき、解体を予定している既存体育館等において石綿含有調査を行った結果、便所の内壁の一部に石綿の含有が判明したため、解体工事にあたり適切な石綿飛散防止措置を行う。

2 事業内容及び事業費内訳

これまで職員室等の管理諸室や図書室等の一部の特別教室にのみ空調設備を設置していたが、これらの他、普通教室及び理科室・音楽室にも空調設備を設置するもの。

また、解体を予定している既存体育館等において、吹付仕上塗材の異なる11箇所から試料を採取し、石綿含有調査を行った結果、便所の内壁の一部に石綿の含有が判明した。このことから、適切な石綿飛散防止措置を実施し解体工事を行う必要があるため、石綿飛散防止措置の追加を行うもの。

事業費内訳

業 務 名	補正予算額(千円)	備考
南側校舎空調設備設置	8,000	普通教室1室、理科室、音楽室
北側校舎空調設備設置〔前金〕	17,600	普通教室14室
石綿飛散防止措置〔前金〕	2,400	既存体育館1階便所
計	28,000	

3 財源内訳

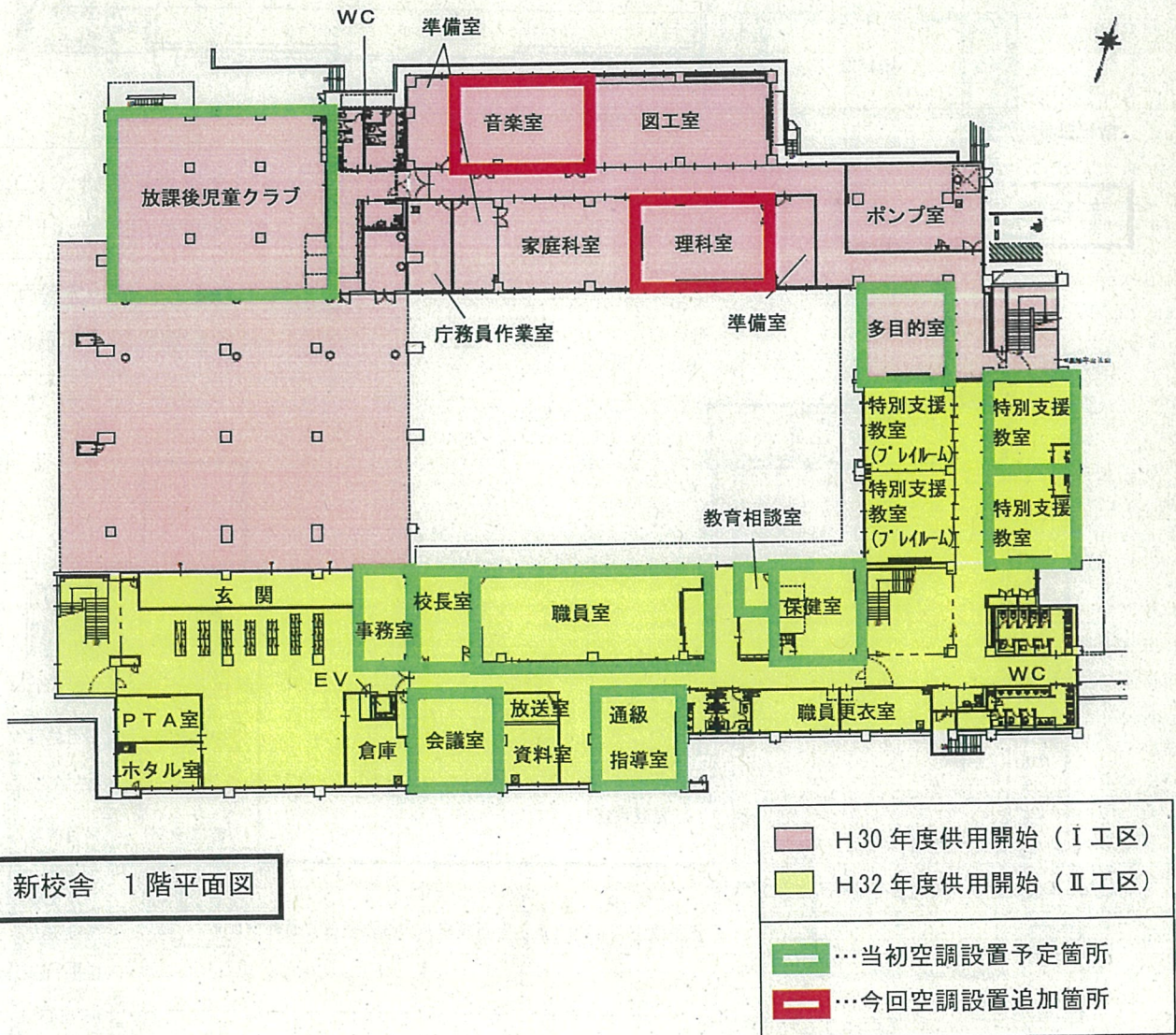
区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源※3
補正前の額	千円 249,500	千円 32,600	千円 —	千円 161,100	千円 —	千円 55,800
補正額	千円 28,000	千円 —	千円 —	千円 21,000	千円 —	千円 7,000
補正後の額	千円 277,500	千円 32,600	千円 —	千円 182,100	千円 —	千円 62,800

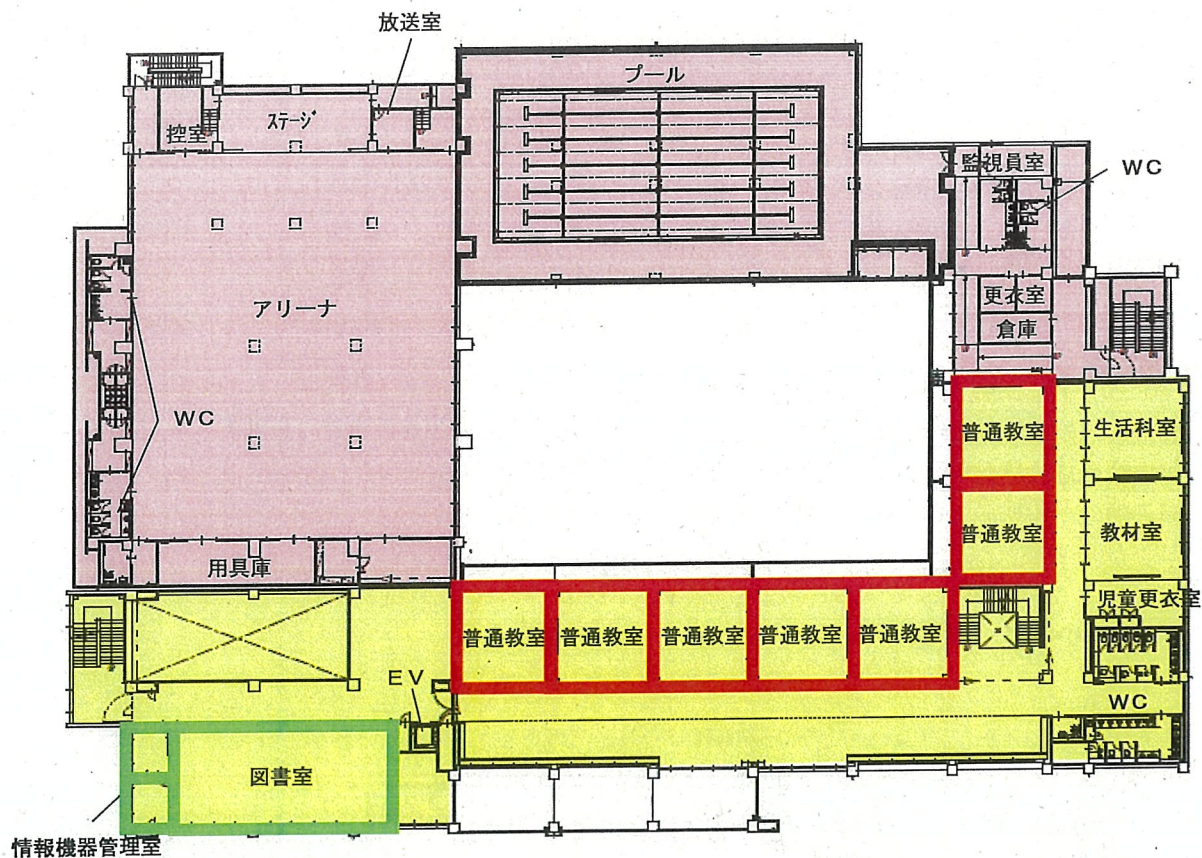
※1 公立学校施設整備費国庫負担金（負担率：1/2）、学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：補助分90%、単独分75%）

※3 補正額の一般財源分のうち6,400千円については財政調整基金

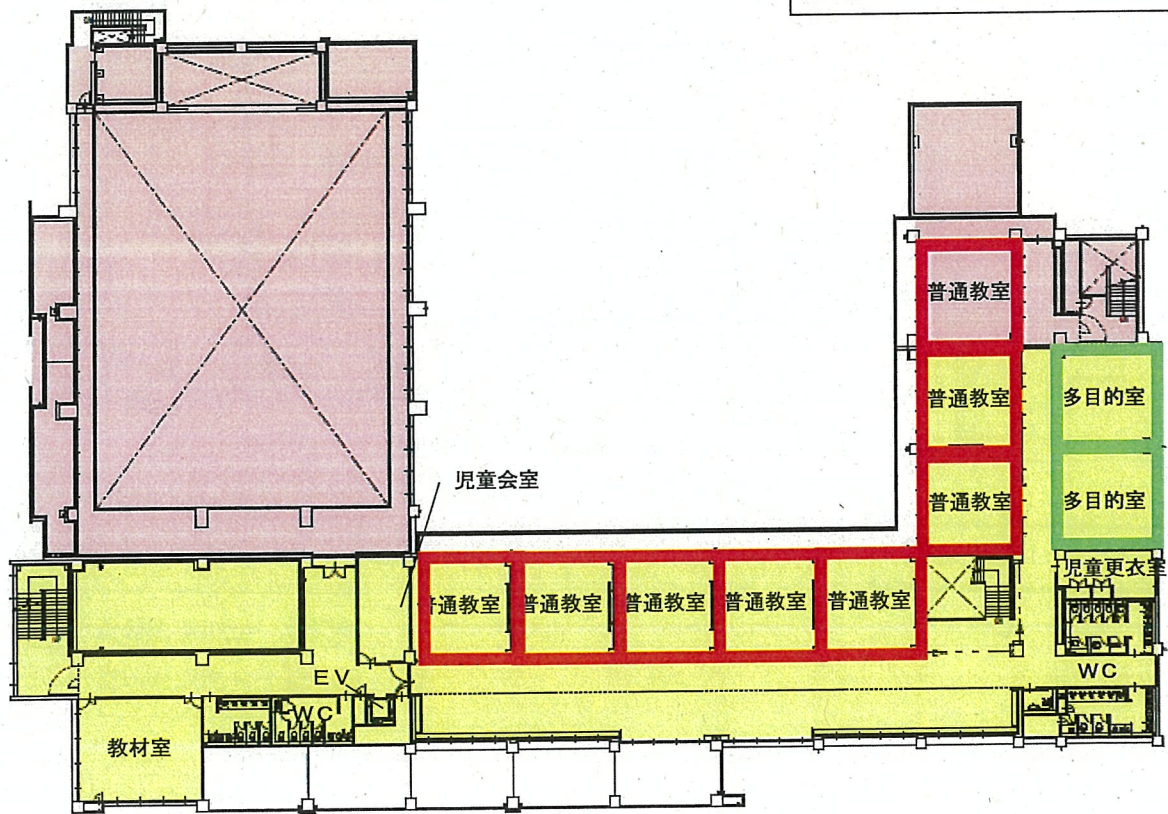
4 伊良林小学校 平面図



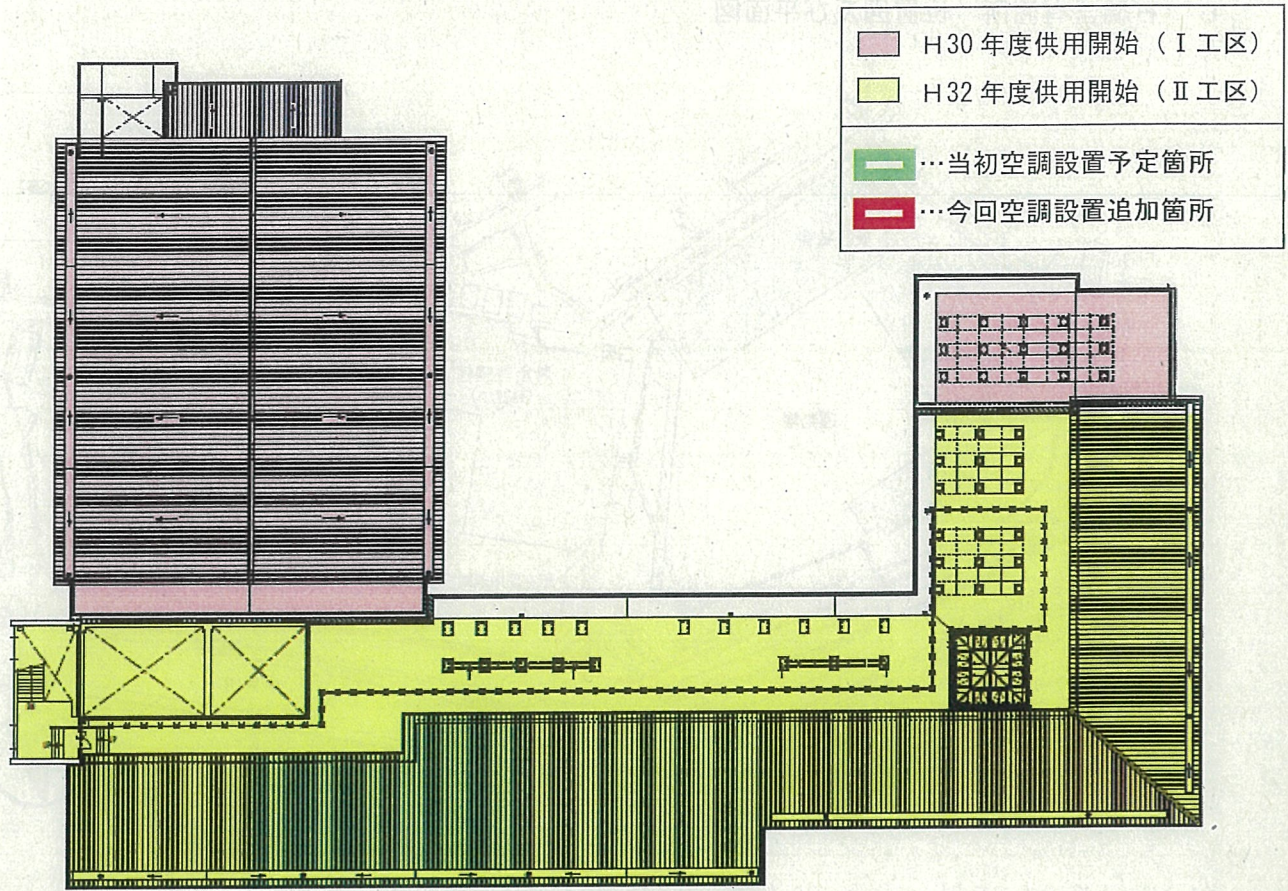


新校舎 2階平面図

- H30年度供用開始 (I工区)
- H32年度供用開始 (II工区)
- …当初空調設置予定箇所
- …今回空調設置追加箇所



新校舎 3階平面図

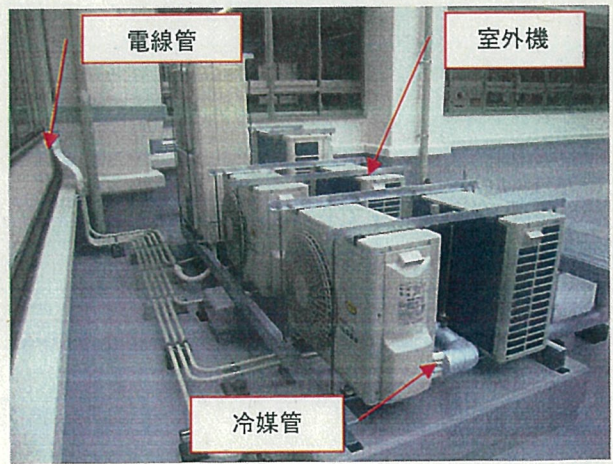


新校舎 4階平面図

5 空調設備設置イメージ

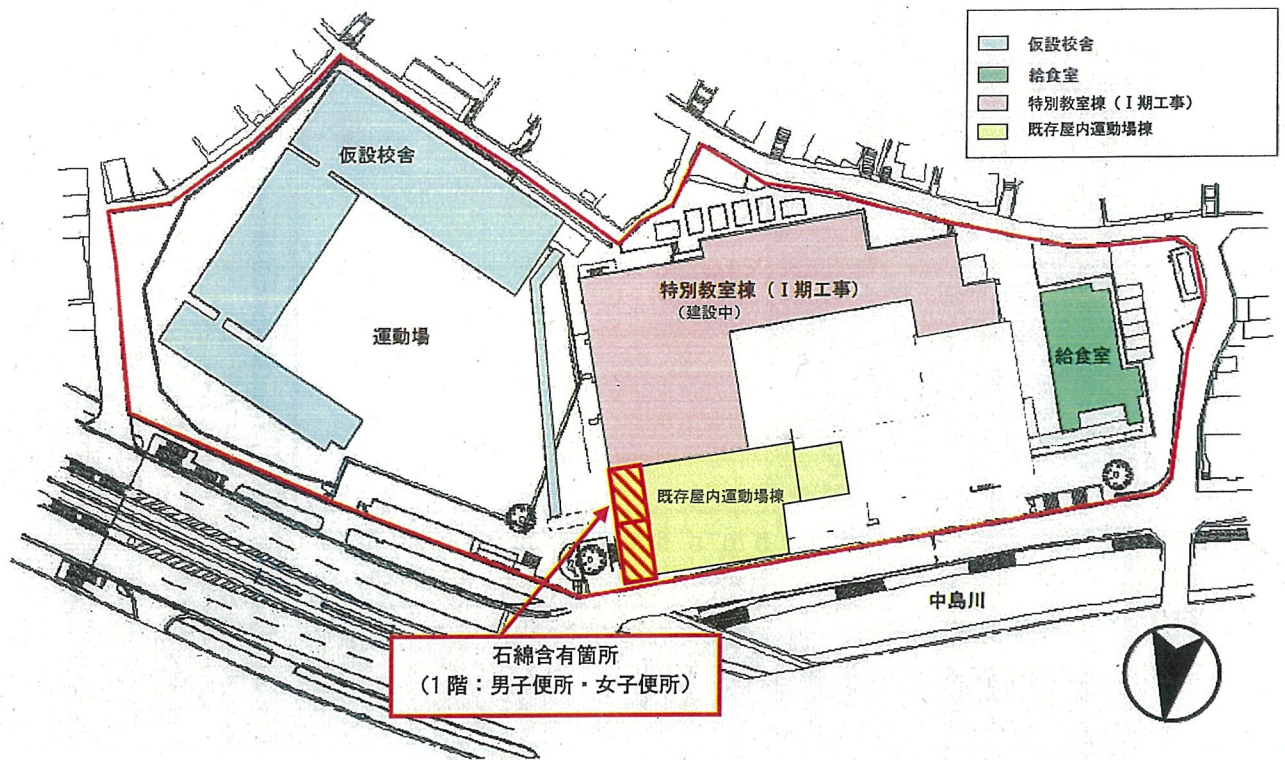


室内



室外

6 石綿含有箇所 位置図及び平面図



7 既存体育館便所 現況写真



男子便所



女子便所

※解体を予定している既存体育館1階の便所内壁の一部から試料を採取し、調査したところ内壁に石綿が含有していることが判明したため、便所内壁全体の石綿飛散防止措置を行う。

参考 伊良林小学校 スケジュール（予定を含む）

平成 27 年度	基本設計、耐力度調査、土質調査
平成 28 年度	実施設計、法定外公共物廃止登記業務委託、 体育倉庫・屋外便所解体等工事、仮設校舎建設工事
平成 29 年度	既存校舎等解体工事（Ⅰ期）
平成 29 年度	給食室移設工事、用地測量業務委託
～平成 30 年度	特別教室棟・屋内運動場・プール改築工事（Ⅰ期） <u>空調設備設置工事（Ⅰ期）</u> 特別教室棟・屋内運動場・プール供用開始（H31.1月予定）
平成 30 年度	既存校舎等解体工事（Ⅱ期）、 <u>石綿飛散防止措置</u>
～平成 31 年度	普通教室棟改築工事（Ⅱ期）、 <u>空調設備設置工事（Ⅱ期）</u>
平成 31 年度	グラウンド設計、太陽光発電設備工事
平成 32 年度	普通教室棟供用開始（H32.4月予定） 体育倉庫・屋外便所整備工事、グラウンド整備等工事

継 続 費		期 間	補 正 額
第 2 表 ページ	事 項		
5 20~21	小学校整備事業 伊良林小校舎等改築	平成28年度 ～平成32年度	千円 58,000

1 概 要

老朽化した伊良林小学校の校舎等を改築することにより、教育環境の改善を図る。

なお、同建設事業は、平成28年度から平成32年度で継続費を設定しているが、空調設備を普通教室及び理科室・音楽室に整備する。

また、環境省からの通知「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」に基づき、解体を予定している既存体育館等において石綿含有調査を行った結果、便所の内壁の一部に石綿の含有が判明したため、適切な石綿飛散防止措置を実施する。

これらのことにより、空調設備の整備及び石綿飛散防止措置に係る継続費の補正を行うもの。

※環境省通知・・・建築物等の内外装仕上げに用いられる建築用仕上塗材（以下「仕上塗材」（抜粋）という。）には、石綿を含有するものがあり、これらの石綿含有仕上塗材は建築物等への使用時には石綿の飛散の可能性は小さい。一方、建築物等の解体・改造・補修工事において石綿含有仕上塗材を除去・補修（以下「除去等」という。）する際には、破断せずに除去等を行うことが困難であるため、除去等の工法によっては、石綿が飛散する可能性が指摘されている。このため、除去等の工法に応じた適切な飛散防止措置を講ずる必要がある。

※継続費とは・・・2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費① (補正前)	事業費② (補正後)	増減 (②-①)
平成28年度(補正予算)	574,900	574,900	0
平成29年度	803,500	803,500	0
平成30年度	133,400	161,400	28,000
平成31年度	733,400	763,400	30,000
平成32年度	124,800	124,800	0
総事業費	2,370,000	2,428,000	58,000

※平成31年度～平成32年度については予定金額である。

3 事業費増の主な内容

- ・空調設備（ガス式）設置のための工事費の増（52,000千円）
（当初設計で設置予定の管理諸室等のほか、新たに普通教室15室、理科室及び音楽室に設置するもの。機械設備工事46,000千円、電気設備工事6,000千円）
- ・石綿飛散防止措置のための工事費の増（6,000千円）
（石綿含有仕上塗材除去費4,400千円、仮設養生費1,100千円、石綿粉塵濃度測定費300千円、石綿廃棄物処理費200千円）

4. 財源内訳

単位：千円

区分	事業年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源※3
補正前の額	平成28年度	574,900	139,480	—	434,900	—	520
	平成29年度	803,500	200,075	—	596,900	—	6,525
	平成30年度	133,400	32,600	—	81,500	—	19,300
	平成31年度	733,400	170,696	—	469,700	—	93,004
	平成32年度	124,800	12,383	—	84,200	—	28,217
合計	2,370,000	555,234	—	1,667,200	—	147,566	
補正額	平成28年度	0	—	—	—	—	—
	平成29年度	0	—	—	—	—	—
	平成30年度	28,000	—	—	21,000	—	7,000
	平成31年度	30,000	—	—	22,500	—	7,500
	平成32年度	0	—	—	—	—	—
合計	58,000	—	—	43,500	—	14,500	
補正後の額	平成28年度	574,900	139,480	—	434,900	—	520
	平成29年度	803,500	200,075	—	596,900	—	6,525
	平成30年度	161,400	32,600	—	102,500	—	26,300
	平成31年度	763,400	170,696	—	492,200	—	100,504
	平成32年度	124,800	12,383	—	84,200	—	28,217
合計	2,428,000	555,234	—	1,710,700	—	162,066	

※1 公立学校施設整備費国庫負担金（負担率：1/2）、学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：補正予算債100%、補助分90%、単独分75%）

※3 補正額の一般財源分のうち13,000千円については財政調整基金

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】中学校整備事業費 外海中学校校舎等建設	千円 8,000

1 概 要

現在、外海中学校の新校舎等の建設を行っているが、文部科学省の定める学校環境衛生基準において、望ましい温度の基準が「17℃以上、28℃以下」と見直されたことを受け、各学校に熱中症計を設置し調査を行ったところ、ほとんどの学校でこの基準を上回る結果となった。

このことから、空調設備を普通教室及び理科室に設置することにより教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

これまで職員室等の管理諸室や図書室等の一部の特別教室にのみ空調機器を設置していたが、これらの他、普通教室及び理科室にも空調設備の設置を行うもの。

事業費内訳

業 務 名	補正予算額 (千円)	備考
空調設備設置	8,000	普通教室3室、理科室1室
計	8,000	

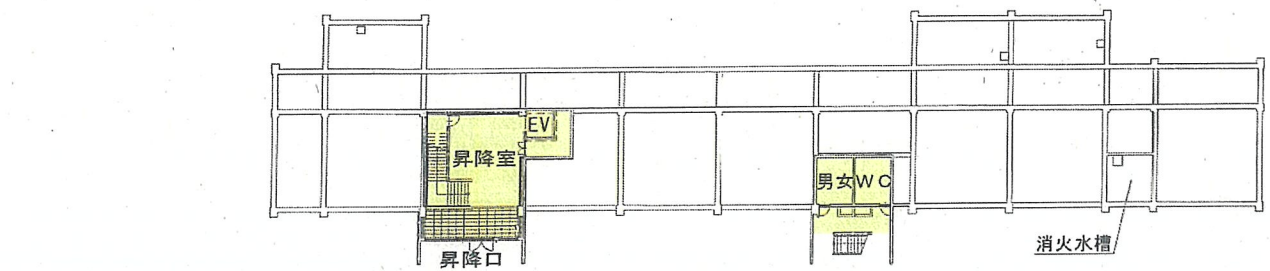
3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
補正前の額	千円 968,900	千円 340,627	千円 —	千円 603,600	千円 7	千円 24,666
補 正 額	千円 8,000	千円 —	千円 —	千円 8,000	千円 —	千円 0
補正後の額	千円 976,900	千円 340,627	千円 —	千円 611,600	千円 7	千円 24,666

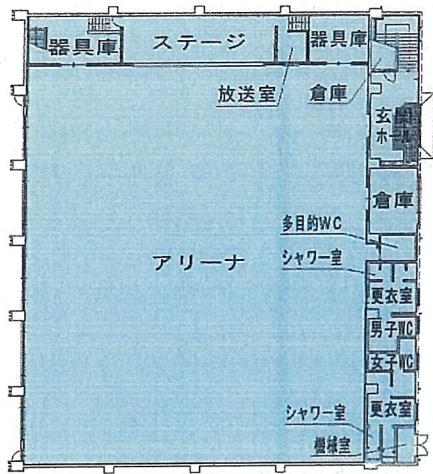
※1 公立学校施設整備費国庫負担金 (負担率: 5.5/10)

※2 過疎対策事業債 (充当率: 100%) ※3 保険料個人負担金

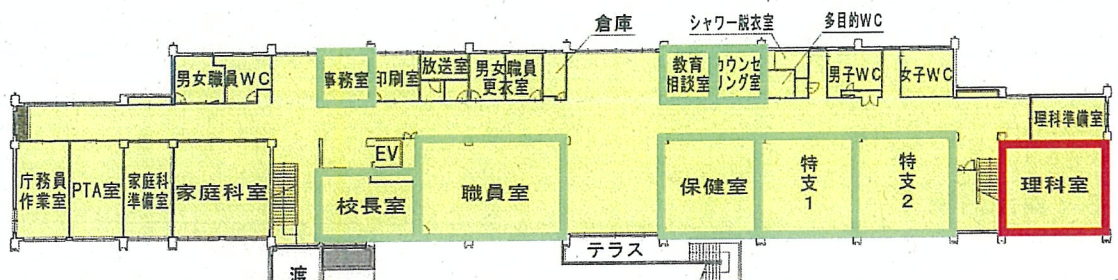
4 外海中学校 平面図 (案)



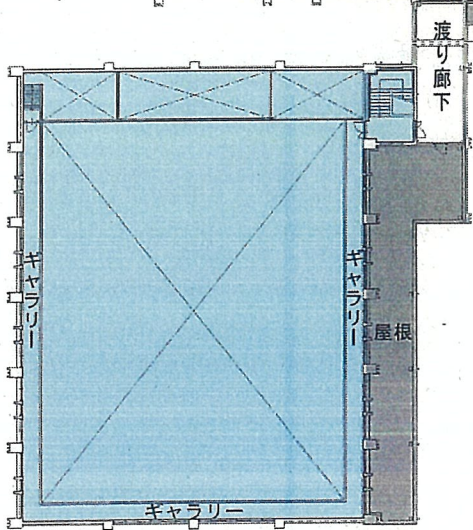
校舎棟 地下1階



屋内運動場棟 1階

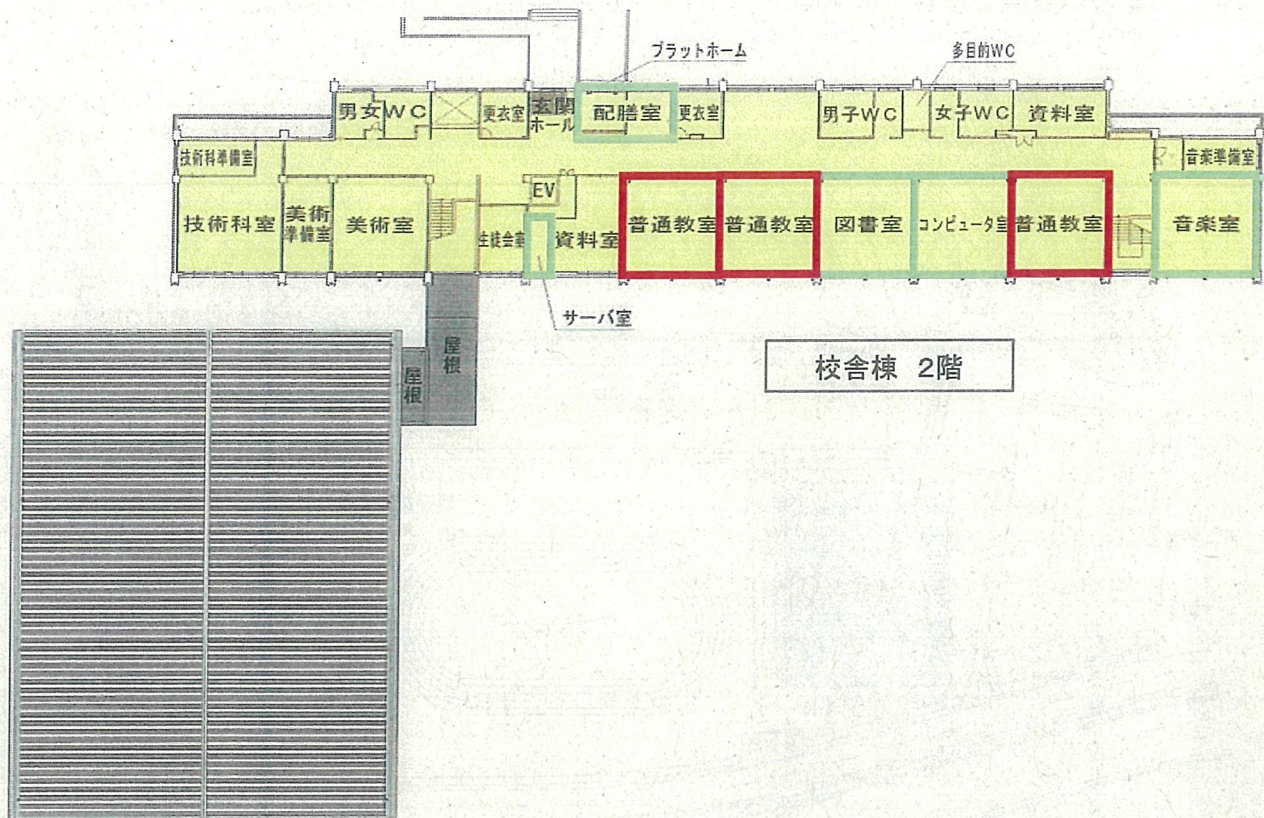


校舎棟 1階



屋内運動場棟 2階

- …当初空調設置予定箇所
- …今回空調設置追加箇所

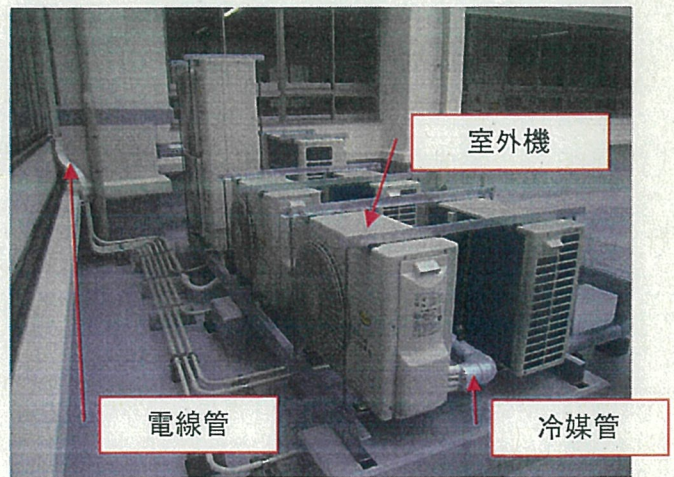


…当初空調設置予定箇所
 …今回空調設置追加箇所

5 空調設備設置イメージ

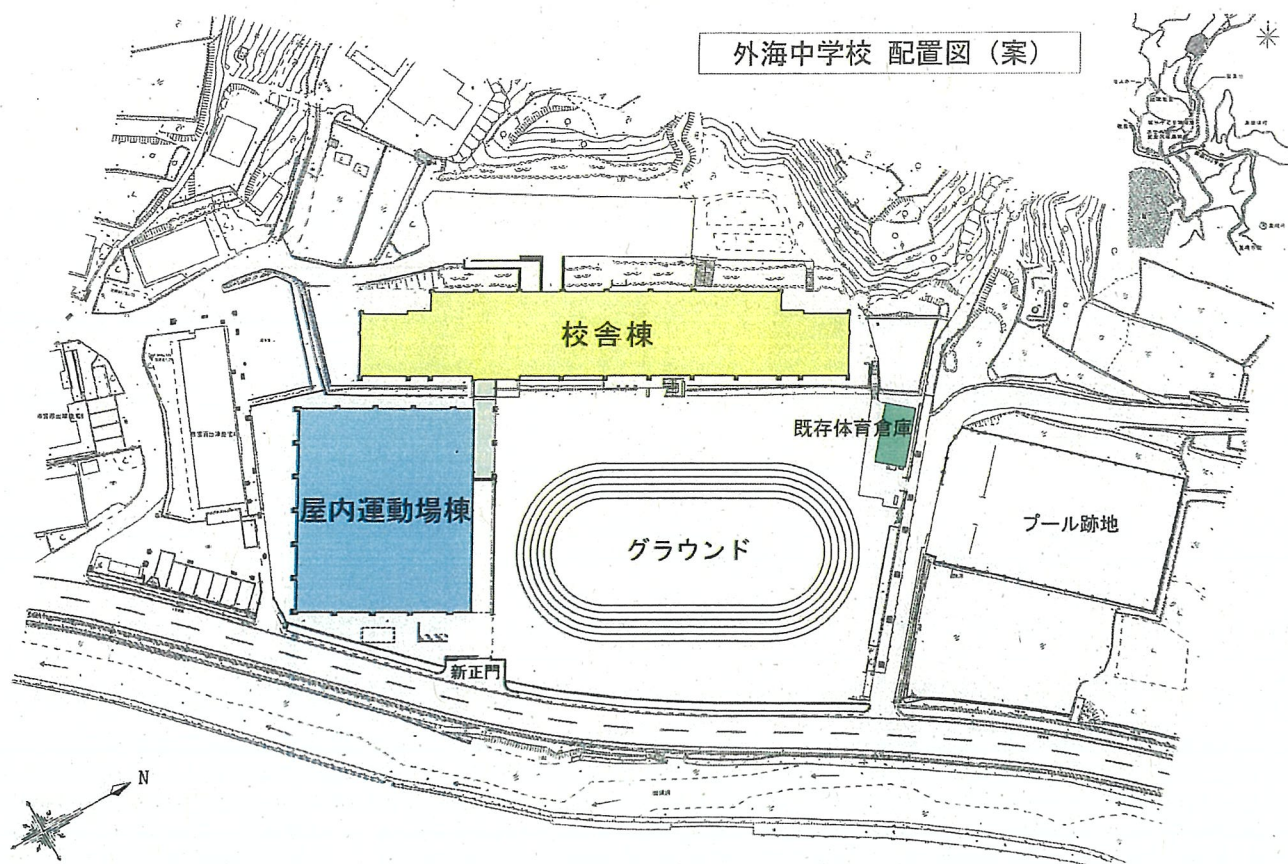


室内



室外

6 (参考) 外海中学校 配置図

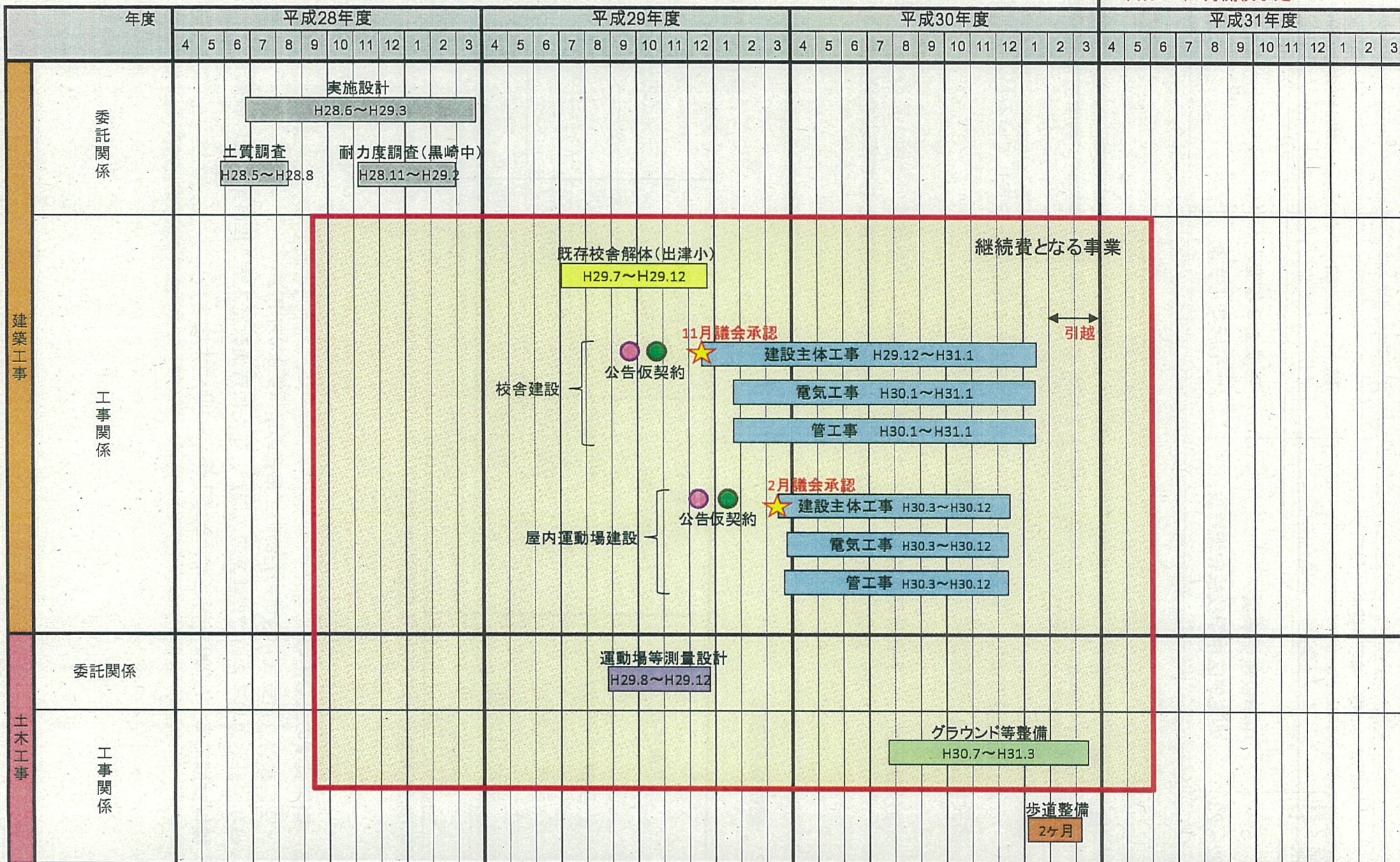


7 (参考) 全体スケジュール予定

平成 28 年度	実施設計、耐力度調査、土質調査
平成 29 年度	旧出津小解体、グラウンド等測量設計 新校舎・屋内運動場建設
平成 30 年度	新校舎・屋内運動場建設、 <u>空調設備設置</u> グラウンド等整備
平成 31 年 4 月	供用開始予定

外海中学校 建築スケジュール (案)

⇒平成31年4月開校予定



継 続 費		期 間	補 正 額
第 2 表 ペー ジ	事 項		
5 22~23	中学校整備事業 外海地区中学校校舎等建設	平成29年度 ~平成31年度	千円 8,000

1 概 要

外海地区において、新しい中学校の校舎等を旧出津小学校跡地に建設し、教育環境の改善を図る。

なお、同建設事業は、平成29年度から平成31年度まで継続費を設定しているが、空調設備設置に伴い、現在設定している継続費を補正するもの。

※継続費とは・・・2会計年度以上にまたがる事業について、所要経費の総額を定めるとともに、継続期間に従って各年度の年割額を定め、予算として議決を経るもの。

2 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費① (補正前)	事業費② (補正後)	増減 (②-①)
平成29年度	438,000	438,000	0
平成30年度	922,000	930,000	8,000
平成31年度	20,000	20,000	0
総事業費	1,380,000	1,388,000	8,000

※平成31年度については予定金額である。

3 事業費増の主な内容

・空調設備（電気式）設置のための工事費の増（8,000千円）

（当初設計で設置予定の管理諸室等のほか、新たに普通教室3室、理科室1室に設置するもの
機械設備工事 7,000千円、電気設備工事 1,000千円）

4 財源内訳

単位：千円

区分	事業年度	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
補正前の額	平成29年度	438,000	112,409	—	325,300	5	286
	平成30年度	922,000	340,627	—	581,100	7	266
	平成31年度	20,000	—	—	20,000	—	—
合 計		1,380,000	453,036	—	926,400	12	552
補正額	平成29年度	—	—	—	—	—	—
	平成30年度	8,000	—	—	8,000	—	—
	平成31年度	—	—	—	—	—	—
合 計		8,000	—	—	8,000	—	—
補正後の額	平成29年度	438,000	112,409	—	325,300	5	286
	平成30年度	930,000	340,627	—	589,100	7	266
	平成31年度	20,000	—	—	20,000	—	—
合 計		1,388,000	453,036	—	934,400	12	552

※1 公立学校施設整備費国庫負担金（補助率：5.5/10）

※2 過疎対策事業債（充当率：100%） ※3 保険料個人負担金

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】小学校整備事業費 空調設備整備	千円 72,000
18~19	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】中学校整備事業費 空調設備整備	千円 43,200

1 概 要

文部科学省の定める学校環境衛生基準において、望ましい温度の基準が「17℃以上、28℃以下」と見直されたことを受け、各学校に熱中症計を設置し調査を行ったところ、ほとんどの学校でこの基準を上回る結果となった。

このことから、空調設備を普通教室及び理科室・音楽室等に設置することにより、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費の内訳

市立全小中学校の普通教室及び理科室・音楽室等の特別教室に空調設備を設置するための、実施設計を行うもの。

なお、設置に際しては平日も作業を行うが、既存の空き教室や特別教室を代替で利用するなどして、児童生徒の学校生活に支障がないよう配慮する。

(1) 小学校

区分	事業費（千円）	内訳
委託費	72,000千円	実施設計委託料 60校 × 1,200千円

学校数 68校 事業対象校数 60校（ア～ウを除く）

ア 建替と同時に整備する学校 2校

伊良林小学校、仁田佐古小学校

イ 小中一貫校、併設校は中学校で計上 5校

日吉小学校、南小学校、高島小学校、伊王島小学校（H31.4より併設校）、野母崎小中学校

ウ 空調設置対応済み 1校

池島小学校

(2) 中学校

区分	事業費（千円）	内訳
委託費	43,200千円	実施設計委託料※36校 × 1,200千円

※事業対象校のうち、2校については、モデル校として自主設計を行う。

学校数 39校 事業対象校数 38校（アを除く）

ア 建替と同時に整備する学校 1校

外海中学校

(3) 小中学校合計 107校 事業対象校数 98校

（事業の内訳）

区分	事業費（千円）	内訳
委託費	115,200千円	実施設計委託料96校 × 1,200千円

(4) 設置予定教室

全普通教室（特別支援教室を含む。）、特別教室のうち、音楽室、理科室、図書室、通級指導教室、パソコン室

(5) 実施設計後の施工

ア 工程

平成31年6月までに50校程度、平成31年度中までに残りの48校の設置を目指す。

設置工事にあたっては、既存の空き教室や特別教室を利用し、学校運営に配慮したうえで平日も作業を行うこと、機器の納期や職人の確保が現状から大きく変わらないことを前提とする。

イ 設置順

高校入試を控えた中学生に、よりよい教育環境を提供したいため、中学校から先行し、設置を行う。

平成31年6月までの設置 中学校 38校 ※小学校 12校

平成31年度中までの設置 小学校 48校

※小学校12校は抽選

抽選理由：学校規模や温度の測定結果など様々な順位付けの方法を検討したが、ほとんどの普通教室において温度が基準を超える環境のなか、合理的な優先順位をつけることは困難であると判断し、公平性を期するために小学校12校は抽選とする。

3 財源内訳

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他	一般財源※2
小学校	千円 72,000	千円 —	千円 —	千円 54,000	千円 —	千円 18,000
中学校	千円 43,200	千円 —	千円 —	千円 32,400	千円 —	千円 10,800
合計	千円 115,200	千円 —	千円 —	千円 86,400	千円 —	千円 28,800

※1 学校教育施設等整備事業債（充当率75%）

※2 一般財源について「財政調整基金」を充当する（28,800千円）

委託料（実施設計委託料）については、空調設備設置に係る工事費が学校施設環境改善交付金の交付決定を受けた場合は、工事費の一部として、補助対象となる。

【繰越明許費】

事業名	区分	事業費	財源内訳		
			国庫支出金	地方債	一般財源
【単独】 小学校整備事業費 空調設備整備	補正後の額	千円 72,000	千円 —	千円 54,000	千円 18,000
	繰越明許費	千円 72,000	千円 —	千円 54,000	千円 18,000

小中学校空調設備設置工事スケジュール計画 (既存学校への設置)

